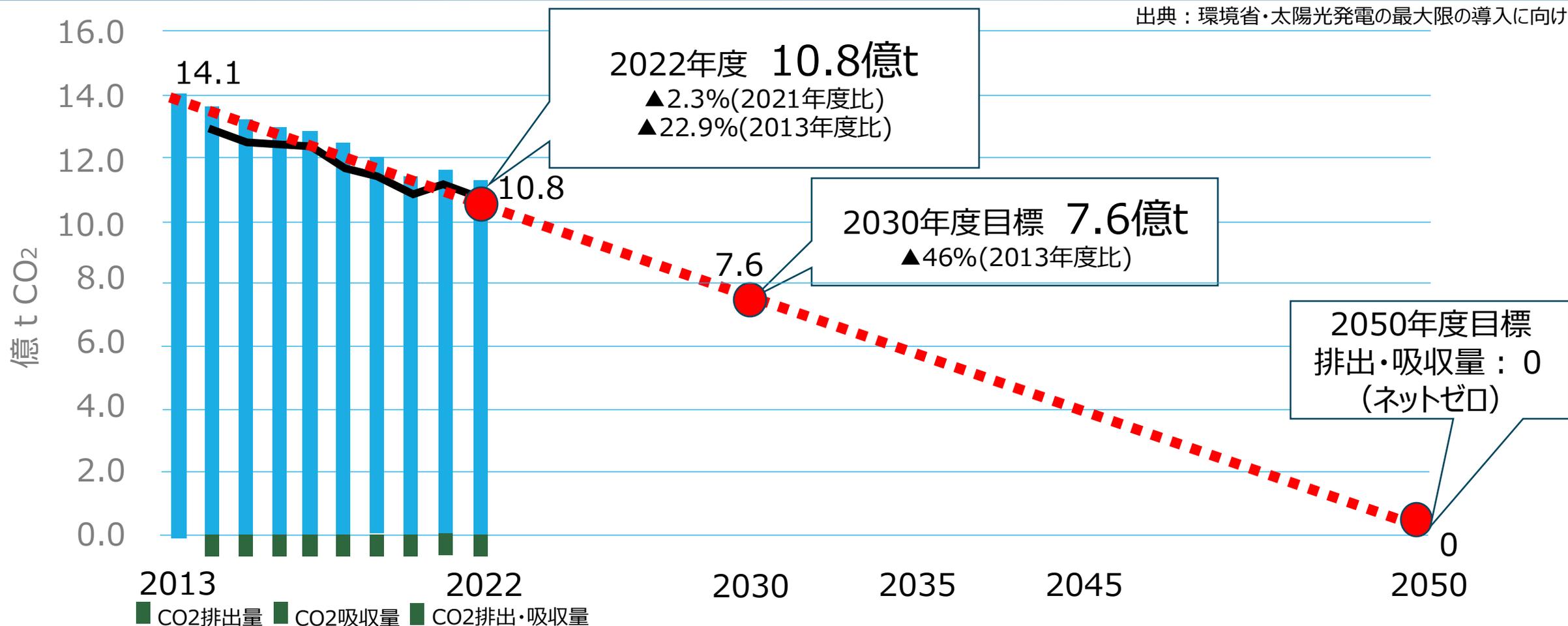


可搬型バッテリーによる 地域循環型社会の共創

Co-creation of a Regional Circular Society
Using Portable Batteries

2050年カーボンニュートラル達成に向けた 排出・吸収量の推移

出典：環境省・太陽光発電の最大限の導入に向けて



※字幕エリア※

2050年カーボンニュートラル達成に向けた 日本政府の取組み

再生可能エネルギーの導入を加速

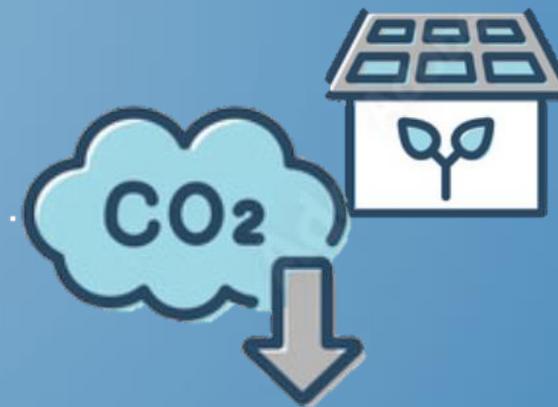
<重点対策項目> 出典：環境省・2050年ネットゼロに向けた進捗

● 自家消費型の太陽光発電

- 地域共生・地域裨益型再エネの立地
- 公共施設等のZEB化
- 住宅・建築物の省エネ性能等の向上
- ゼロカーボンドライブ
- 循環経済への移行
- 脱炭素型まちづくり
- 持続的な食料・農林水産業



2050年
カーボンニュートラルの
実現



※字幕エリア※

日本政府が設定する 2030年太陽光導入目標

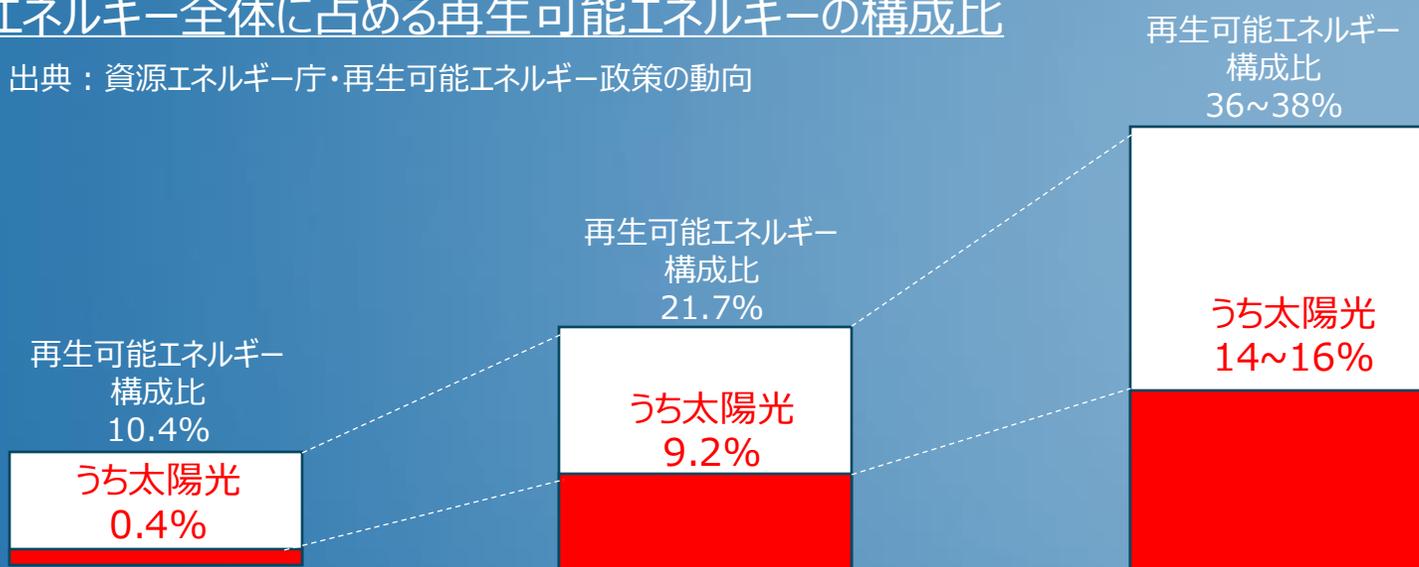
2011

2022

2030

エネルギー全体に占める再生可能エネルギーの構成比

出典：資源エネルギー庁・再生可能エネルギー政策の動向



**2030年までに
太陽光発電容量を
約1億0350~1億1760万kWへ**

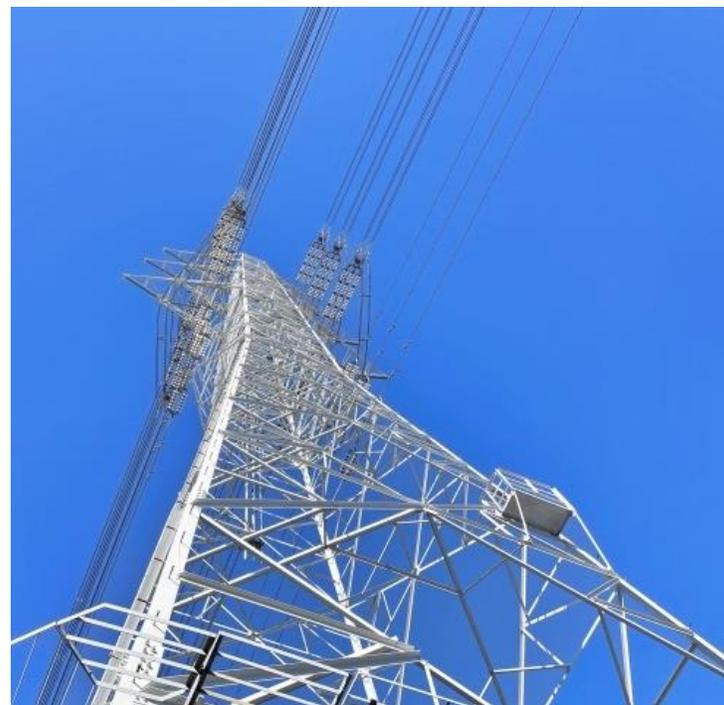
※字幕エリア※

都市近郊で太陽光発電を増やすための 3つの課題

設置スペースの不足



系統接続の制約

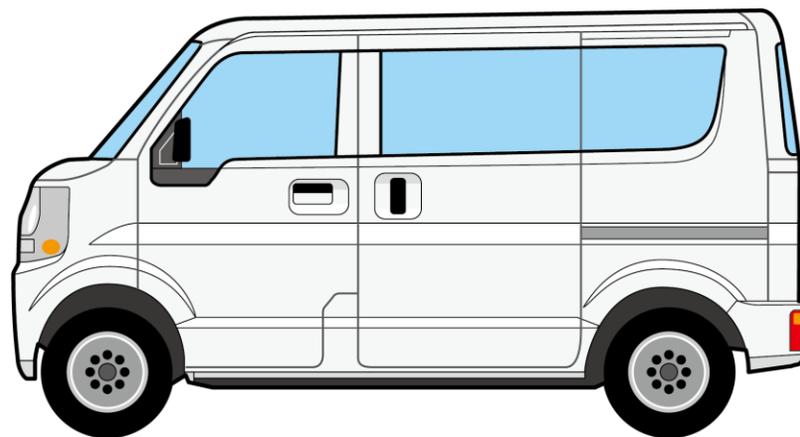


地域課題との両立



※字幕エリア※

可搬型バッテリーによる地域循環型社会 こしがや脱炭素コンソーシアムの取組み



既存のガソリン車をコンバージョンEV(CEV)に

※字幕エリア※

可搬型バッテリーによる地域循環型社会 こしがや脱炭素コンソーシアムの取組み



コンバージョンEV(CEV)

※字幕エリア※

可搬型バッテリーによる地域循環型社会 こしがや脱炭素コンソーシアムの取組み



コンバージョンEV(CEV)

平時のバッテリーシェアリング
市内の事業者間で共同利用



バッテリーステーション
(交通結節点の機能強化)

※字幕エリア※

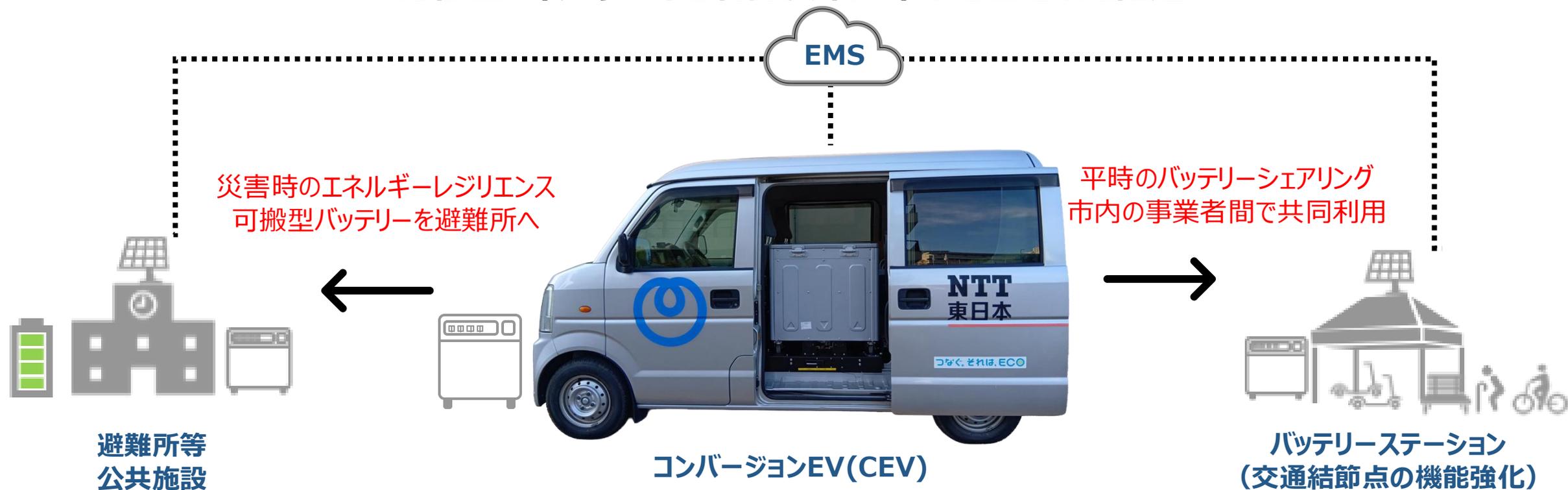
可搬型バッテリーによる地域循環型社会 こしがや脱炭素コンソーシアムの取組み



※字幕エリア※

可搬型バッテリーによる地域循環型社会 こしがや脱炭素コンソーシアムの取組み

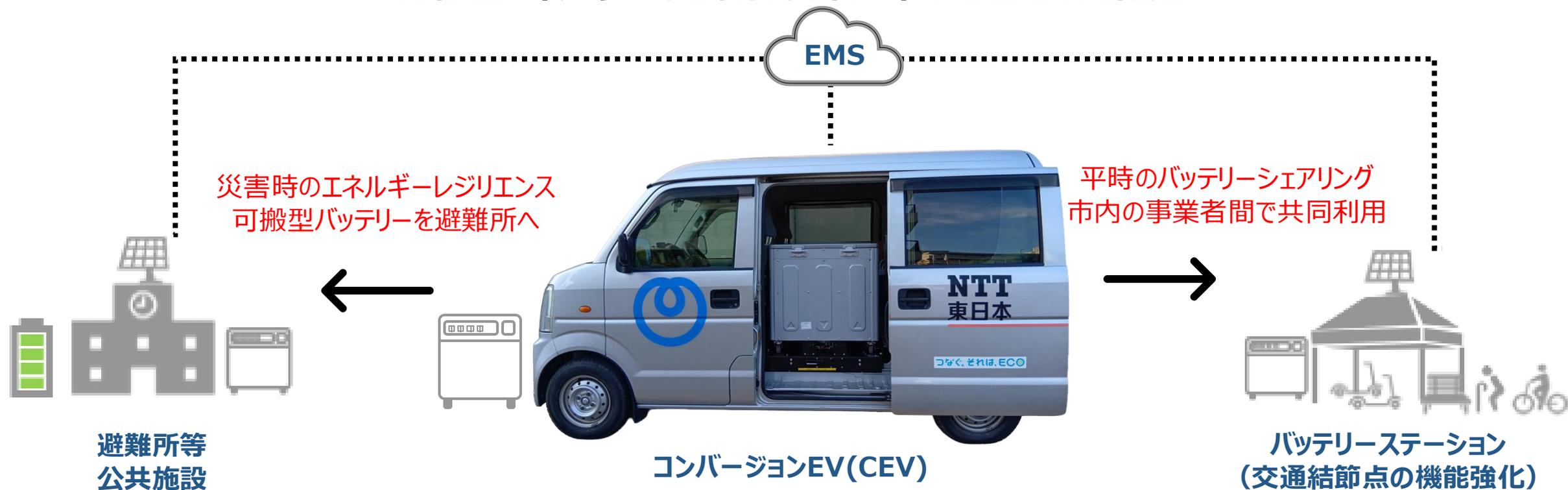
分散型エネルギー源を制御し、再エネの地産地消を推進



※字幕エリア※

可搬型バッテリーによる地域循環型社会 こしがや脱炭素コンソーシアムの取組み

分散型エネルギー源を制御し、再エネの地産地消を推進



地域全体でエネルギーを賢く使い合う社会の実現に向け、産官学が連携

※字幕エリア※

今後の展望

① オフグリッド環境での実証



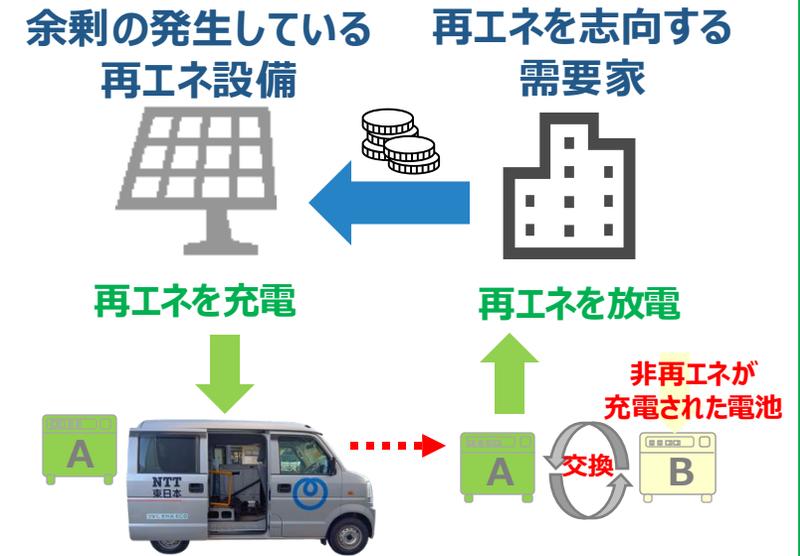
インフラが未整備な水辺空間における
可搬型バッテリーの活用実証

② バッテリーシェアリング実証



複数の事業者間でバッテリーシェアリング
をした場合のユーザビリティ、収益性の
評価検証

③ 可搬型バッテリーによる再エネ融通



市内で発生する余剰再エネを
可搬型バッテリーで需要家まで
運搬・交換するビジネスモデルの検証

